

2/20
五方

5野党、廃止法案を共同提出



日本共産党、民主党、維新の党、生活の党、社民党の野党5党は19日、戦争法廃止法案を衆議院に提出しました。

同法案は、昨年9月19日に安倍政権が国民世論の反対を無視し强行成立させた戦争法10本の法改定からなる「平和安全法制整備法」と、「国際平和支援法」(新法)からなる2法を廃止する内容です。2法は、憲法9条をじゅうりんし、歴代政府の憲法解

案を衆議院に提出しました。法案を衆議院に提出しました。的自衛権の行使を可能とし、米軍の戦争支援のために自衛隊をいつでも海外派兵する」は、国民多数の声の後押しをと可能とするもの。憲法違反が明白です。

廃止法案の提出者は、5野党の国対委員長らが名を連ね、日本共産党からは穀田恵二、志位和夫、赤嶺政賢の各議員が提出者となりました。

法案提出後の共同記者会見で、日本共産党の穀田恵二国対委員長は「あらためて安倍政権が强行可決した戦争法とは何かを明確にすべきです。

糸を百八十度転換して、集団的自衛権の行使を可能とし、憲主義を破壊したものにばかりなりません。廃止法の提出は、国民多数の声の後押しをと可能とするもの。憲法違法を廃止し立憲主義を回復するために、これからも共同のとりくみを強めていきたい」と語りました。

民主党的な議論をまきおこし、廃止が実現するよう、野党5党が力を合わせ頑張っていきたい」と述べました。

戦争法廃止法案を向大野新治衆院事務総長(右から3人目)に提出する(左から)生活・玉城テー一、共産・穀田恵二、民主・高木義明、(一人おいて)維新・石関貴史、社民・照屋寛徳
各國対委員長=19日、国会内